

令和
8年度

北九州市公立学校
教員募集

北九州市で教員に なろう!



先生をひとりにしない
北九州市教育委員会



尾崎先生の一日

8:30～ 8:35 健康観察・朝の会



8:35～ 8:45 アプリタイム(木曜は読書)

アプリタイムでは、タブレットで算数の練習問題などを行い、学力の定着を図っています。

8:45～ 9:30 1時間目

9:35～10:20 2時間目

10:20～10:35 中休み

中休みや昼休みには、校庭に出て、子どもたちと一緒に遊ぶこともあります。

10:40～11:25 3時間目

11:30～12:15 4時間目

12:15～13:00 給食



13:00～13:30 昼休み

13:30～13:45 掃除(月・水・金)
アプリタイム(火・木)

13:45～14:30 5時間目

14:35～15:20 6時間目

15:20～15:30 帰りの会、下校指導

放課後は、学年の打ち合わせや保護者への連絡、丸付け、教材準備などを行います。

15:45～17:00 会議、授業準備、事務作業



Q 先生は、どうして「北九州市」で教員になろうと思ったのですか？

私は、地元である北九州市が大好きで、地元に貢献したいという思いで、北九州市を志望しました。また、北九州市は、教員のサポート体制が充実しています。特に、キャリアステージに応じた研修制度は、採用後も働きながら学び続けることができると思い、北九州市で教員になりたいと思いました。

Q 先生が、教員をしていて「よかったな」と思うときは、どんなときですか？

たくさんの「感動」に出会えたときに、教員をしていてよかったなと思います。リコーダーが苦手な子が一生懸命練習をして吹けるようになったり、発表が苦手な子が私の言葉かけによって少しずつ発表できるようになりますなど、子どもたちの頑張りや小さな成長が見えたとき、とても感動し、教員をしていてよかったなと思います。

Q 先生の教員に対するイメージは、入職前と入職後で変わりましたか。もし変わった場合は、その理由も教えてください。

教員に対するイメージは、入職前と入職後で変わりました。入職前は、日々の授業に加え、生徒指導や保護者対応など、教員の仕事量の多さに少し不安を抱いていました。しかし、入職してみると、教科担任制やスクールサポートスタッフの配置など、教員の負担軽減のための様々な取組がされており、不安が軽減しました。また、報告・連絡・相談がしやすく、先生同士が協力し、助け合いながらチームとして働いている職場環境のおかげで、安心して働くことができています。

Q 先生にとっての、仕事におけるマストアイテムは何ですか？

私にとっての、仕事におけるマストアイテムは、笑顔です。毎朝教室に入るときは、必ず明るい笑顔で挨拶をして入るようにしています。先生に笑顔がなく、暗い雰囲気だと子どもたちにもそれが移ってしまいます。先生がいつも明るく笑顔でいることで、子どもたちを元気づけたり、励ましたりすることができますと考えています。子どもだけに限らず、保護者や同僚の先生など大人に対しても、よりよい人間関係を築いていくために笑顔は欠かせないものだと思っています。

Q これから同僚となる後輩の皆さんへ、メッセージをお願いいたします。

教員という仕事は、子どもたちの成長を間近で感じることができ、子どもたちと共に自分自身も成長することができる仕事だと思います。また、授業や子どもとの関わりを通してやりがいを強く感じることのできる仕事もあります。ときには悩むこともありますが、子どもの頑張る姿や少しずつ成長する姿を見て、「私も頑張ろう!」とパワーをもらっています。是非教員になって、北九州市と一緒に頑張りましょう!

教員の一 日

先生インタビュー1



毛谷村先生の一 日

8:30～ 8:50 健康観察・朝自習・朝の会

一日の始まりです。
健康観察や朝の会を通して、生徒たちの様子を確認します。

8:55～ 9:45 1時間目

9:55～10:45 2時間目

10:45～10:55 10分休憩

10:55～11:45 3時間目

11:55～12:45 4時間目

12:45～13:15 給食

13:15～13:35 昼休み

13:35～14:25 5時間目

14:35～15:25 6時間目

15:35～15:45 帰りの会、下校指導

全員が帰るまで見送ります。コミュニケーションをとるチャンスでもあり、相談を受けることもあります。

15:45～17:00 会議、授業準備、事務作業



堀先生の一日

8:30～ 8:45 健康観察・朝の会



他の授業を受けている生徒たちの様子を見にいくこともあります。

8:50～ 9:40 1時間目

9:50～10:40 2時間目

10:50～11:40 3時間目

11:40～12:30 昼食・昼休み

会話などを通じて、生徒の様子が変わらないかも確認します。

12:30～13:20 4時間目

13:30～14:20 5時間目

14:30～15:20 6時間目

15:20～15:35 掃除・帰りの会

本校は全生徒が職員室に挨拶に来るので、様子を見守ります。

15:35～16:00 下校指導

16:00～17:00 会議、授業準備、事務作業



教員の一 日

先生インタビュー2



Q 先生が、教員を目指したきっかけを教えてください。

特別支援教育の教員になろうと思ったのは、大学4年生時の熊本地震がきっかけです。それまでは高校の体育教員を目指していたのですが、障害のある子が避難所でパニックになっていることに対して何もできない自分にふがいなさを感じ、特別支援教育の道を選ぶことにしました。

Q 先生が、教員をしていて「よかったな」と思うときは、どんなときですか?

生徒の成長の瞬間に立ち会えた時です。私の場合は高等部3年生を送り出し、1か月経った時にも実感することができました。卒業生が学校にやってきて、「初任給をもらいました。そのお金で家族にごちそうしたらとても喜ばれました。学校生活は大変なこともたくさんありましたが、先生たちのことを信じて必死に頑張ってよかったです。」と報告に来てくれました。その言葉を聞いた時は涙が出るほど嬉しかったです。

Q 先生は、教員としてどんなことにやりがいを感じますか?

熱心に指導をして、その結果生徒が努力し、応えてくれた時にやりがいを感じます。入学時は、教員側の思いが上手く伝わらず苦労した生徒でも、学年が上がっていくにつれて徐々に成長していく瞬間に何度も立ち会えます。今までできなかつたことができるようになったり、わからなかつたことがわかつた時の表情を間近で見ることができたりするのは教員の魅力だと思います。

Q 先生が、教員をしていて「難しいな」「大変だな」と思うことは、なんのことですか?

一人ひとりの育ってきた環境や考え方も違う中、生徒の悩みを理解して一人ひとりの心の中に入していくことに難しさを感じます。私たちにとってはなんてことないことが、思春期の子どもたちにとっては、とても大きな悩みになっていることもあります。そんな時は、自分ひとりで考えるのではなく、同僚の先生たちに相談しながら、できるだけ多角的な視点をもって指導・支援できるように意識しています。

Q 先生にとっての、仕事におけるマストアイテムは何ですか?

「TO DO リスト」です。前日に次の日にやることを書き出して整理し、優先順位をつけていきます。当日の朝、それを再確認し、一日をスタートします。やることを終えたら赤ペンで消していく、仕事の漏れがないように気を付けています。



Q 先生は、どうして「北九州市」で教員になろうと思ったのですか?

私は北九州市出身ですが、大学は県外に進学し、そこで小学校の学生ボランティアも経験しました。そのまま、その土地で養護教諭になることも悩みましたが、教育実習で母校を訪れた際、北九州市の子どもたちの素直さや元気の良さに触れ、やはり慣れ親しんだ北九州市で教員になりたいと思いました。

Q 先生は、教員としてどんなことにやりがいを感じますか?

体調不良で来室していた子どもが、その後「先生元気になったよ～」と保健室まで伝えに来てくれたときはうれしい気持ちになります。他にも、朝、保健室で気持ちを整えて教室に向かう子が、元気に教室で過ごしている姿を見るとよかったです。

Q 先生の教員に対するイメージは、入職前と入職後で変わりましたか。もし変わった場合は、その理由も教えてください。

入職前は、養護教諭は優しくて温かいイメージでしたが、入職後先輩の先生を見ていると、優しさや温かさだけでなく、芯のある養護教諭である必要があるなど少しイメージが変わりました。養護教諭は様々な場面で意見を求められます。そのときに、養護教諭として自分はどうするべきだと思うか、しっかり自分の意思を持っておくことが大切だと実際に働いてみて実感しました。私もまだ勉強中ですが、優しさの奥には強さをもつた養護教諭になりたいです。

Q 先生にとっての、仕事におけるマストアイテムは何ですか?

私のマストアイテムは仕事中にいつも身につけているポケットです。保健室での仕事だけでなく、アレルギーのチェックなどで校内を巡回することもあるので、中身にはボールペンやメモ帳、ちょっとした救急セットなどを入れています。

Q これから同僚となる後輩の皆さんへ、メッセージをお願いいたします。

実際に養護教諭として働いてみて、子どもたちの心と体の成長を肌で感じることのできる素敵な職業だと日々実感しています。もちろん、大変なこともたくさんありますが、それ以上に、子どもたちの笑顔を見て頑張ろうと思える毎日です。先の見えない不安に押しつぶされそうになるときもあると思いますが、自分を信じて前を向いていればきっと大丈夫です。養護教諭になるみなさんの心と体の健康も大切に頑張ってください。ぜひ、一緒に北九州市で働きましょう。



鍋島先生の一日

8:30～ 9:00 アプリで児童の出欠等を確認 来室対応



9:00～ 9:30 健康観察入力

健康観察を入力して、管理職に出席状況を共有します。

9:30～ 9:45 環境衛生検査

気温や水質をチェックして環境衛生日誌に記入します。

9:45～10:25 来室対応

10:25～10:40 中休み

来室対応では、何かが体調不良で保護者に連絡が必要な場合は担任の先生と連携しながら状況をみて電話をかけます。管理職にも報告します。

10:40～12:00 来室対応、事務作業

12:00～12:20 給食

12:20～13:05 給食アレルギー対応児童の確認

13:05～13:35 昼休み、来室対応、委員会活動

13:35～13:55 掃除

13:55～15:30 来室対応、事務作業

来室対応しながら、空いた時間に保健室を作成したり、保健関係の書類等、事務作業をしています。

15:30～17:00 会議、担任の先生と情報共有 保健日誌の記入 保健室の整理整頓

保健室に来室した児童の中で気になる児童については担任の先生と情報共有します。明日も子どもたちが、安心して保健室を利用できるようシーツを交換したり、備品を補充したり保健室の環境を整えます。



北九州はこんなまち



「子育て」しやすいまち



出産・育児に安心の医療体制

出産前後の医療では、妊娠・お産のときに生じる緊急の出来事にもスムーズに対応できるよう、妊婦健診や通常分娩などを行う医療機関だけでなく、リスクを伴う妊娠・お産を取り扱う医療機関がそれぞれの役割を分担しながら連携する仕組みをとっています。

小児救急医療では、24時間365日対応の病院が市内に4カ所あり、さらに夜間・休日に看護師などが電話相談を受け付ける体制も整備しています。



北九州市は「こどもまんなか社会」を目指します。

取組1 子どもや子育て家庭を社会全体で支える機運の醸成

- ◎ 外出中に授乳やおむつ替えなどで立ち寄ることができる「赤ちゃんの駅」を民間事業者の協力のもと、市内約500カ所に設置。

取組2 多様な保育サービスの充実

- ◎ 一時預かりや延長保育など、保育サービスが充実
- ◎ 第2子以降の保育料無償化
- ◎ 病児保育利用料が無料

取組3 放課後児童クラブの充実

- ◎ 入所を希望する全学年児童の受入

取組4 子どもの医療費を助成

- ◎ 18歳まで保険診療にかかる医療費を年齢に応じて助成

取組5 充実した子育て支援施設

- ◎ 「子どもの館」や「子育てふれあい交流プラザ」など、屋内大型子育て支援施設や、身近な区役所にも「親子ふれあいルーム」を開設

取組6 子ども・若者の居場所の確保

- ◎ 子どもや若者が安心して過ごすことができる居場所として、子ども食堂やユースステーション、子ども・若者応援センター「YELL」を設置

子育て環境の評価

◆ 次世代育成環境ランキング2023年度版 政令指定都市 第1位
(出典:NPO法人ガリテ大手前)

◆ 共働き子育てしやすい街ランキング2023 政令指定都市 第2位
(出典:日経Xwoman)

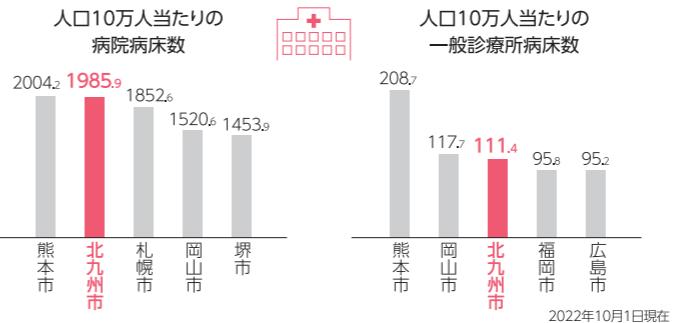
統計データ

◆ 合計特殊出生率(令和4年 1.46) 政令指定都市 第1位



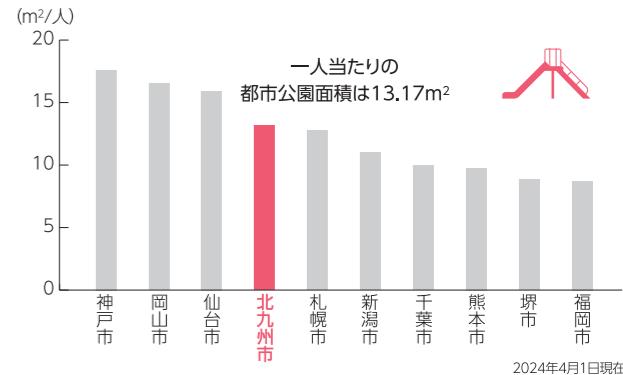
もしものときに心強い、充実した医療体制

北九州市の人口10万人当たりの病床数は、政令指定都市の中で、病院が第2位、診療所は第3位と、医療機関・病床とともに十分確保されています。また、一刻を争う救急車での搬送は、119番受信から病院到着までの時間が34.5分と、全国の大都市でトップの早さとなっています。



一人当たりの都市公園面積は13.17m²

北九州市の都市公園数は1,719カ所、一人当たりの都市公園面積は13.17m²で、政令指定都市の中では第4位。老朽化した身近な公園も、地域住民とワークショップ形式で再整備計画を作り、地域ニーズに応じた公園に生まれ変わっています。



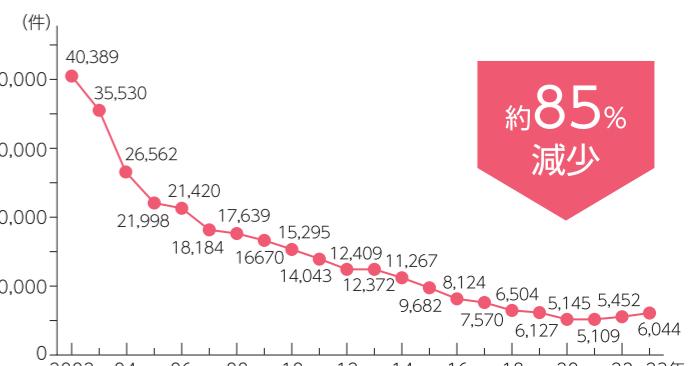
北九州への交通アクセス

北九州市と各地を結ぶ交通アクセスは良好で、仕事にプライベートにスムーズな移動ができるところが魅力です。



刑法犯認知件数はピーク時から85%減

2023年の刑法犯認知件数は6,044件と、最も多かった2002年の40,389件から約85%減少しています。

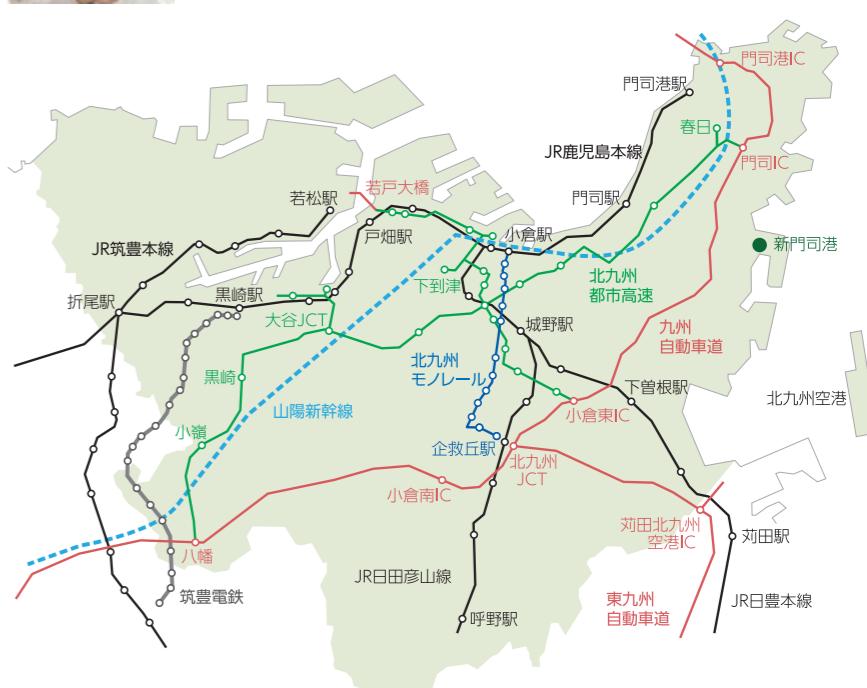


約85%
減少



交通手段が充実したまち

公共交通機関が充実しているため、通勤・通学、買い物など、どこへ行くのも便利です。また、新幹線や飛行機、フェリーを使用することができるので、国内や海外へアクセスも容易です。



採用候補者選考試験について

北九州市では、様々な特別選考を実施しています。自分に合った選考を選び、ぜひ受験してください。

選考試験の区分

- いずれの区分も、年齢59歳まで受験可
- 令和8年度(令和7年度実施)選考試験では、栄養教員の募集は行いません

一般選考



特別選考

I 現職正規教員(個人面接のみ実施)

- 現に国公立学校(小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校及び特別支援学校)の正規教員として勤務し、かつ出願時点で、現自治体又は学校法人等に継続して1年間以上の勤務経験(休職、育児休業等の期間を除く)がある者
- 初任者研修を修了している者

2 正規教員経験者(第一次試験免除)

- 過去5年間で、幼稚園、小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校、特別支援学校、高等学校及び大学の正規教員として勤務経験がある者(国公私立を問わない)
- 自治体又は学校法人等に継続して1年間以上在籍し、かつ、通算1年間以上の勤務経験がある者

3 講師経験者(第一次試験免除)

- 過去5年間で北九州市立学校の常勤講師、非常勤講師、学校支援講師、養護助教諭又は栄養代理職員として通算1年間以上の勤務経験がある者

II 教職大学院修了者特別選考(第一次試験免除)

- A区分 学校教育法の規定に基づく教職大学院を修了した者又は令和8年3月31日までに修了見込の者
- B区分 学校教育法の規定に基づく教職大学院を令和8年4月1日から令和9年3月31日までに修了見込の者

III 大学等推薦特別選考(第一次試験免除 ※審査有)

次の(1)から(3)までの要件をいずれも満たす者

- (1) 北九州市立学校教員を第一志望とし令和8年度の採用を希望すること
- (2) 学業成績が優秀であり、かつ本市の教員として優れた実践力を發揮することが期待できること
- (3) 令和8年3月31日現在において、推薦の対象となる校種等(教科)の教員免許状の一種免許状取得の課程認定を受けている大学又は専修免許状取得の課程認定を受けている大学院若しくは教職大学院を卒業見込又は修了見込であること

IV 社会人特別選考(第一次試験免除 ※審査有)

次の(1)(2)のいずれかの要件を満たす者

- (1) 過去10年間で、同一の民間企業又は官公庁等の正規職員として、継続して3年間以上の勤務経験がある者
- (2) 独立行政法人国際協力機構法の規定に基づくJICA海外協力隊として、継続して2年間以上の派遣経験がある者

V 複数免許状所有者特別選考(第一次試験免除)

下表に掲げる特別選考の対象となる免許状を所有する者又は受験日の属する年度内に取得見込の者

試験区分	特別選考の対象となる免許状	併願先となる試験区分
小学校教員	中学校教諭免許状(普通免許状)	中学校教員(特別選考の対象となる免許状の教科)
	特別支援学校免許状(普通免許状)	特別支援学校小学部教員
中学校教員	小学校教諭免許状(普通免許状)	小学校教員
	特別支援学校免許状(普通免許状)	特別支援学校中学部教員
特別支援学校教員	小学校教諭免許状(普通免許状) ※但し、特別支援学校一種又は専修免許状所有者に限る	小学校教員
	中学校教諭免許状(普通免許状)	中学校教員(特別選考の対象となる免許状の教科)
中学部	小学校教諭普通免許状	小学校教員
	中学校教諭免許状(普通免許状) ※但し、特別支援学校一種又は専修免許状所有者に限る	中学校教員(特別選考の対象となる免許状の教科)

障害者特別選考

大学3年生前倒し一次選考

大学3年生も受験可能!

大学3年生等で令和8年度末に卒業見込の者 ※大学3年生前倒し一次試験合格者は、翌年度実施第一次試験が免除となる。

北九州市教育委員会人材育成基本方針

教職員に求める資質

- ・高い使命感と豊かな人間性
- ・学び続ける姿勢と柔軟な対応力
- ・誰一人取り残さない姿勢と人権尊重の精神

北九州市教員採用情報専用サイト



選考試験の内容とスケジュール(予定)

4月1日～4月30日

6月15日

7月上旬

7月中旬～8月上旬

8月1日～8月18日

9月中

10月上旬～中旬

10月末

翌年1月中旬

4月1日

電子申請等による出願受付

第一次試験 実施

○ 筆記試験【教職教養・専門試験】

※小学校教員・特別支援学校小学部教員については、専門試験(小学校全科)を免除します。
※特別選考I(現職正規教員除く)、II、III、IV、Vについては、第一次試験を免除します。



第一次試験 合格者発表

第二次試験 実施

①個人面接

②模擬授業・集団討議

③実技試験等

【英語口述】……中学校教員(英語)、特別支援学校中学部教員(英語)*
【理科実技】……中学校教員(理科)、特別支援学校中学部教員(理科)*
【音楽実技】……中学校教員(音樂)、特別支援学校中学部教員(音樂)*
【美術実技】……中学校教員(美術)、特別支援学校中学部教員(美術)*
【体育実技】……中学校教員(保健体育)、特別支援学校中学部教員(保健体育)*

*上記、特別支援学校中学部教員については、同教科の中学校教員を併願する者のみ該当します。

※特別選考V「複数免許状所有者特別選考」受験者については、併願先となる試験区分の実技試験を受験する必要があります。

現職正規教員枠 志願書受付



第二次試験 合格者発表

現職正規教員枠 試験実施



現職正規教員枠 合格者発表

採用候補者説明会

辞令交付式 各学校へ配属

※スケジュールや試験項目については変更になることがあります。

教員採用候補者選考試験の実施状況(令和7年度採用)

	小学校		中学校										特別支援学校 教員	養護教員	合計
	小学校	小中一貫	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健体育	技術	家庭	英語			
志願者	349	41	39	46	32	16	8	5	83	2	6	34	104	83	848
合格者	181	18	10	15	11	4	4	2	14	1	1	7	61	5	334

試験内容等の詳細については、「北九州市教員採用情報専用サイト」実施要項(令和7年1月末頃掲載予定)をご覧ください。

採用後について

(1) 給与について

初任給(令和5年度実績)

学歴	小・中学校	特別支援学校
大学院(修士課程修了)	約266,000円	約277,000円
大学卒	約246,000円	約257,000円
短大卒	約223,000円	約232,000円

※上記の金額は、給料月額、給料の調整額、教職調整額、地域手当及び義務教育等教員特別手当の合計を記載しています。
この他にそれぞれの支給要件に応じ、通勤手当、扶養手当、住居手当、期末・勤勉手当(年2回)等が支給されます。

※上記初任給は、給与改定等により変更になる場合があります。また各人の学歴や職歴に応じて一定の基準により加算されます。

加算の例

区分	経験 ^{*1}	給与	
		月額 ^{*2}	初年度年額 ^{*3}
小・中学校教諭	4大卒、社会人経験5年	約281,000円	約4,190,000円
	4大卒、社会人経験15年	約345,000円	約5,189,000円
	4大卒、社会人経験25年	約387,000円	約5,828,000円
特別支援学校教諭	4大卒、社会人経験5年	約288,000円	約4,295,000円
	4大卒、社会人経験15年	約356,000円	約5,358,000円
	4大卒、社会人経験25年	約400,000円	約6,024,000円

*1: 4年制大学を卒業後、教職員の職務と直接関係のない企業において、フルタイムで就労した経験年数

*2: 給料、給料の調整額、教職調整額、地域手当、義務教育等教員特別手当の合計

*3: 月額の12か月分及び期末・勤勉手当の合計

(2) 福利厚生について

採用後は公立学校共済組合員となります。公立学校共済組合では主に以下の事業が行われます。

◎ 短期給付事業(健康保険等) ◎ 長期給付事業(年金等) ◎ 福祉事業(その他)

※あわせて、北九州市教職員互助会や福岡県教職員互助会に加入することで両互助会が実施する各種福利厚生を利用することができます。

(3) 勤務形態について

勤務時間

勤務時間は、午前8時30分から午後5時までです。

休日・休暇

【休日】土・日・祝日、年末年始が休みとなっています。

【休暇】年次有給休暇は20日です。その他、夏季休暇や育児休業、育児短時間勤務、子育て支援休暇、介護休暇等があります。



キャリアステージに応じた人材育成

～学び続けていくために～

北九州市教員採用情報専用サイト



ステージ0

教職準備期

教職現場での実践的課題を見通し、求められる資質の基盤を形成する。

ステージ1

教職基礎形成期

チーム学校の一員として学級担任や教科担当を担う。

ステージ2

教職資質向上期

指導力を発揮し、ミドルリーダーとして
学校運営に参画する。

ステージ3

教職資質充実期

高い指導力を発揮するとともに、重要な校務分掌を担い、
学校運営を推進する。

ステージ4

教職資質発展期

高い指導力や豊富な経験を生かし、学校運営を推進する。
管理職として、豊富な経験を生かし、広い視野で
組織的な学校運営を行う。

★ 専門研修 ★ マネジメント研修 ★ 学校力向上研修 等



採用前・後も安心!!「あなたをひとりにしない」サポート体制

北九州市は教職員同士の「つながり」「情熱」「技術」を最大限に生かすために様々なサポートを行っています!

北九州教師養成シン・みらい塾

大学生対象

教師を目指す学生同士が、北九州市の採用状況や教育情報をテーマとした講座を通して交流することで「教職への理解を深める」と共に「不安の軽減」を図っています。

※令和6年度は、1回目は集合型、2回目はリモート型で実施。

●県外の大学で北九州市の情報がなかなか掴みにくく、不安でいっぱいの気持ちで4年生の5月を迎えたが、みらい塾に参加したこと、大きな自信になりました。大学の後輩が北九州市の教員を目指す場合には、みらい塾の参加を勧めようと思いました。
(大学4年・中学校教諭志望)

●北九州市の新人教員に対するサポートの充実、それに付随する教材の豊富さ、生徒への向き合い方等、北九州市で教員になりたいという思いが膨らむ講座でした。
(大学3年・小学校教諭志望)

●簡単な質問にも答えてくださる時間があり、普段尋ねにくいことも尋ねることができます
不安軽減につながりました。
(大学4年・栄養教諭志望)

●グループワークの際に4年生の先輩方が多くいたので、教育実習のことを聞くことができました。実習の際に感じたことや気づいたことなど、ほかの参加者の方の意見が大変参考になりました。来年度もぜひ参加したいと思いました。
(大学3年・特別支援学校教諭志望)

受講者の声



北九州教師養成みらい塾出前講座

大学生対象

教育センター所員が近隣の6大学に出向き「教職の魅力」を発信する講座を実施しています。オンライン動画の視聴や協議、ロールプレイを通して、教員としての基本的な技術や心構えを学ぶ講座となっています。

●普段の授業では講義を聞くだけで、実践的な活動をすることはあまりないため、活発に活動する経験は教師になることに向けて非常に有効な経験になると思いました。北九州市教育委員会の「先生をひとりにしない」というメッセージから、北九州市なら教師を頑張っていけるのではないかと思い、これから教採に向けて準備をしていきたいと思っています。
(大学2年・小学校教諭志望)

●4月から教壇に立つ上で必要な実践的な内容を丁寧にご指導ください、学生も大変勉強になったと話しています。動画での事前学習も準備してくださっていることで、より充実した講座内容になっていると感じます。

新採教職員応援講座FT+

新年度採用予定者対象

本市に採用が決まった方を対象に、北九州市の教育の最新情報を学べる実践的な講座を行い、教職員生活を安心してスタートできるようにしています。採用前から、同期と交流することで、横のつながりもできています。※令和6年度は、1回目は集合型、2回目はリモート型で実施。

●講座を受講して、教員になる不安が軽減された気がします。教員になった際には、子どもとよりよい関係を築いていくために、まずは子どもの気持ちに寄り添う姿勢を大切にしていきたいと思います。4月までに教員としての心構えをきちんとこころてるように準備したいと思います。
(小学校教諭採用)

●問題が起こった際に「こんなことを周りの先生に話していいのかな」と、新採の私は考えそうでした。ですが、小さなことでも1人で抱え込まずに先生同士で共有し、チーム学校で働くという意識を常にもっておこうという考えになりました。
(中学校教諭採用)

●事前に視聴した動画を基に、同じ不安を抱く先生方と意見交流することができ、4月から頑張れる気がしています。悩んでいるのは自分だけではないことを知り、悩みや不安を共有できました。学校現場でも一人で悩まず、先輩方、管理職の方に相談しながら乗り越えようと思います。
(特別支援学校教諭採用)

受講者の声



健康管理の充実

相談しやすい環境を整え、教員の心身の健康をサポートしています。

* ストレスチェックの実施

* 産業医や保健師などの専門職に相談できる窓口の設置

明日に+オンライン

若年次教職員対象

若年次教職員がつながり、日々の実践に活用できるアイデアを収集できるようにすることを目的として勤務時間内(16:15~16:45)にリモートで実施しています。指導主事等からのアイデア提供と、小グループでの意見交流を行っています。

- 保護者との信頼関係を築くために、情報収集・整理整頓や環境整備を進めていこうと思います。
(個人懇談会編の講座より)
- 事務仕事ですぐに使える小技を知ることができました。業務効率が上がると思います。活用していきたいと思います。
(ICT編の講座より)
- 他の学校の先生とお話すことができとても励みになりました。
- あっという間の30分でした。ICTについて、まだまだ苦手意識が強いので、勉強して使いこなせるようになりたいです。習ったことをまずやってみます。
(ICT編の講座より)



教C寺子屋一休さん

全教職員対象

学びたい教職員と研究会・サークルをつなぐため、「集合型」や「リモート型」、その2つを併用したハイブリッド型など、幅広い行き方で講座を開催できるように環境を整備しています。

- 初めての参加ですが、温かく迎え入れてください、アットホームな雰囲気で質問もしやすかったです。
- 学校に持ち帰ってそのまま活用できるような素晴らしい資料をいただけた、ありがとうございます。
- 教材研究の在り方についてアドバイスをいただきました。誤答に対しての発問や手段、子どもの興味を引き出すことの大切さについて、改めて考えさせられました。
- その場で出た質問に、その場で答えてもらえるという気軽な雰囲気がとてもよい講座でした。



授業づくり等を支える各種資料

全教職員対象

① kitaQせんせいチャンネル

学び続ける教職員を支える情報の窓口として、コンテンツの充実と利便性の向上を続けています。また、各課の事業や研修に関する情報が多数掲載されています。

子どもたちが生き生きと活動し、学力・体力向上を図る授業づくりのヒントとなる資料(指導案・板書・発問など)が充実しています。

教職員互助会のホームページのリンクから、教職員の福利厚生に関わる情報を閲覧することも可能です。



② 教師のしおり(令和6年度改訂版)

ティーチャーズガイドとして、自己研鑽のツールや問題を解決する指導の手引き、悩みを解決するヒントとして活用されています。

第1章から第4章までの構成となっており、学級経営や授業に関するページだけではなく、教育大綱など北九州市の教育に関する情報や特別支援教育なども掲載されています。各ページの二次元コードから、関連するホームページにつながるので、この一冊があれば様々な情報を入手し、自己啓発につなげることができます。

メンター制度を活用した校内OJT

各学校では、経験や専門性の高い教員による対話や助言を通して、新しい先生の授業づくりや学級経営等を支援します。



教科メンタリング教員

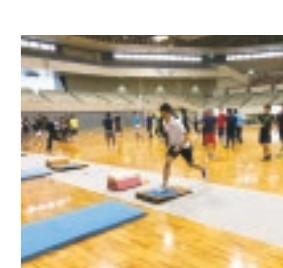
中学校では、教科メンタリング教員(国、社、数、理、外)が、メンター(新規採用の先生)の授業づくりを専門教科に特化して支援しています。月に数回程度、メンターの所属する学校を訪問し、若年教員の授業を参観・助言等もしています。

若年教員の先生向けに、専門教科ごとに研修会を実施することもあります(教科の指導力の向上)。授業づくりに関する相談にも応じています。



各種実技研修会

実技の指導(体育や理科の実験等)に苦手意識をもつ先生も各種実技研修会を実施するなどして支援します。



採用後も安心!! 「働きやすさ」と「働きがい」の両立を実現します!

北九州市は、「教員の多忙化解消」や「働きやすい職場環境づくり」にいち早く取り組んだ都市として知られています。



業務改善の推進～子どもたちと先生のウェルビーイングを実現～

「先生が『心身ともに健康に教壇に立つこと』が、何よりも子どもたちのためになる」ことを念頭に、北九州市では以下のような業務改善の取組を進め、先生方の負担軽減を図っています。



全学校に導入済

学校・保護者間の連絡等のオンライン化
保護者連絡ツールの導入により、朝の電話連絡対応や保護者に配布する便りの印刷などにかかる時間を削減!!



全小中学校に配置済

教員業務支援員(スクール・サポート・スタッフ)の配置
印刷や配布物の仕分け、教材準備補助などの教員業務を、支援スタッフがサポート!!



全学校に導入済

学校閉庁日の設定
夏季及び冬季休業期間中に、7日程度設定し、先生の休暇取得を促進。



全学校に導入済

留守番電話機能の活用
勤務時間外の電話対応にかかる負担を軽減!(時間は学校の実態に応じて設定)



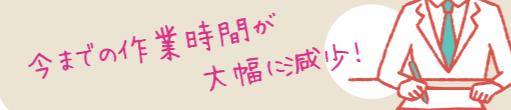
全中学校に導入済

部活動休養日・活動時間の設定
原則、週2日(平日1日及び土日いずれか1日)以上の休養日をとることや、活動時間(平日2時間程度、土日祝日3時間程度)などについてガイドラインを策定。



全中学校に導入済

自動採点システムの導入
中学校教員の大きな負担となる「採点業務」を、AIを用いた自動採点システムにより作業効率化。



その他、令和5年2月に策定した「学校における業務改善プログラム(第3版)」に基づき、各校で取組を実施しています!!



これらの取組により、北九州市では教職員の在校等時間の削減を実現しています。今後も先生自身が「幸せに働ける」職場環境づくりを目指します!



講師(臨時教員)の募集について

北九州市立学校で教員に欠員が生じた場合等に採用する講師を募集しています。採用は、事前に登録された方の中から行います。登録は随時受け付けています。



採用条件

北九州市立学校(小学校、中学校、特別支援学校、高等学校)の正規職員が病気休暇や産前・産後休暇、育児休暇を取得する等により、欠員が生じた場合に、事前に登録された方の中から講師を採用します。

また、事前に登録された方の中から、必要に応じて特定の業務を行うための講師を採用します。

登録を行うための条件

教員免許状を所有(取得見込みも可)し、次の全ての条件を満たす場合は年齢を問わず、講師登録が可能です。

- ①公立学校教員としての欠格事項(禁錮以上の刑に処せられた者等)に該当しないこと。
- ②暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律第2条第6号に規定する「暴力団員」に該当しないこと。

登録の受付期間

随時受付いたします。

登録の方法

<https://www.city.kitakyushu.lg.jp/kyouiku/file0312.html>



上記HPから電子申請または、「北九州市公立学校講師養護助教諭等登録願」、「講師・養護助教諭等任用希望調書」を入手し必要事項を記入の上、教育委員会教職員課へ郵送により登録申請してください。

提出された電子申請・登録願等をもとに、後日、教育委員会教職員課の担当者との面談を行います。面談後、登録完了になります。

常勤講師 (臨時の任用職員又は任期付採用職員)

正規職員と同様に終日勤務(勤務時間／8:30～17:00)です。
給与も正規職員に準じて支給されます。

小中学校勤務の場合

4年制大学卒業
月額/約241,000円～約336,000円
短期大学卒業
月額/約219,000円～約335,000円

※上記の金額は、給料月額、教職調整額、地域手当及び義務教育等教員特別手当の合計を記載しています。
※任用される者の職歴等に応じて、金額は変わります。
※その他、支給要件に応じて扶養手当、住居手当、期末・勤勉手当、通勤手当、退職手当等が支給されます。

非常勤講師 (会計年度任用職員)

病気休暇等代替教員としての特定の時間のみの勤務です。
勤務時間等に応じて報酬が支給されます。

小学校勤務の場合

4年制大学卒業
日額/約8,200円～約9,800円
(週5日、週30時間勤務)

中学校勤務の場合

4年制大学卒業
時間額/約1,300円～約1,600円
(週16時間勤務)

※上記の金額には、地域手当に相当する報酬を含みます。
※任用される者の職歴等に応じて、金額は変わります。
※その他、支給要件に応じて期末・勤勉手当、交通費等が支給されます。

学校支援講師 (会計年度任用職員)

担任の補助等、特定の内容を主たる業務とし(勤務時間／8:30～16:45)、報酬が支給されます。

小中学校勤務の場合

4年制大学卒業
日額/約10,200円～約12,300円
(週5日、週37.5時間勤務)

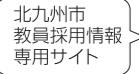
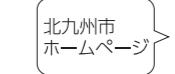
※上記の勤務条件は、社会経済情勢等の変化により変更することがあります。

■ 北九州市ホームページ

https://www.city.kitakyushu.lg.jp/kyouiku/file_0312.html

■ 北九州市教員採用情報専用サイト

<https://www.kita9.ed.jp/kyoushokuin-c/index.html>



〒803-8510 北九州市小倉北区大手町1番1号 北九州市教育委員会 教職員部 教職員課 TEL:093-582-2372